



(消防出初式)

「令和6年能登半島地震」で多数の尊い命が犠牲となったことに対し、深く哀悼の意を表します。また、被災された全ての方々に心よりお見舞いを申し上げるとともに、被災地域の日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

## 12月定例会の動き

11月	22日	招集告示 議会運営委員会	12月	6日	議会運営委員会 本会議（議案質疑）
	30日	議会運営委員会 本会議（議案上程）		7日	本会議（議案質疑） 予算特別委員会
	4日	本会議（一般質問）		11日	常任委員会・分科会
12月	5日	本会議（一般質問）	12日	常任委員会・分科会	
	6日	議会全協議会 本会議（一般質問）	18日	予算特別委員会 議会運営委員会 本会議（表決）	

## 記事内容

11月臨時会・12月定例会から	P 2～P 3
議案質疑	P 3
一般質問	P 4～P 8
陳情	P 8
予算特別委員会	P 9
常任委員会の動き	P 10～P 11
編集後記等	P 12

今年には昨年を引き続き、本市の基幹産業である観光、農業、水産業を軸に、市民生活に直接及ぼす原油高騰・物価高騰の影響などに機動的に対応するとともに、将来の成長に資する取組に対しても、投資していくべきものと考えております。

議会といたしましては、地域活性化や公共の福祉向上など諸課題解決に真摯に取り組む、市民の皆様の声を市政に届け、議員として負託に応えてまいる所存であります。

むすびに、今年が本市にとって、また、市民の皆様にとりまして大きく飛躍する年となり、明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。新春を迎えるの挨拶といたします。



男鹿市議会議長 小松 穂積

## 新春を迎えて

新年おめでとうございます。

市民の皆様には、すこやかな新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。日頃から議会運営に対し、ご理解、ご協力を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行したこともあり、本市においては各種イベントの再開による観光・飲食業関連で回復の兆しが見られる中、大雨被害や高温少雨、降雪等による自然災害がもたらした市民生活への影響は多大なものであります。

# 11月臨時会 12月定例会

11月臨時会は11月8日に招集され、8月の高温少雨、7月の大雨、4月の晩霜に伴い被害を受けた農家への各種支援策に要する経費を盛り込んだ一般会計補正予算案を可決しました。12月定例会は11月30日に招集され、12月18日までの19日間の会期で開かれました。今定例会では水道事業給水条例改正案など22議案が市長から提案されたほか、重点支援地方交付金活用事業に要する経費を盛り込んだ一般会計補正予算案など3議案が会期中に追加提案され、審議の結果、全ての議案を可決としました。さらには、最終日に追加提案された国のガス価格激変緩和対策事業の期間延長に伴うガス供給条例改正案、災害復旧事業費を盛り込んだ一般会計および水道事業会計補正予算案をそれぞれ可決とし閉会しました。

※男鹿市議会会議録は、男鹿市ホームページ「市議会」バナーからご覧いただけます。

## 11月臨時会

### ●農作物被害に対する支援について

4月下旬の遅霜、7月中旬の大雨、その後の記録的な高温少雨の影響により、農作物全般にわたり収量の減少や品質の低下が著しく、農業経営にとって大変厳しい年となっています。この異常気象に伴う農作物の被害額は、全体で約4億8千万円に上ると推計されています。

議会としては、9月定例会の段階から深刻な打撃が予想されるとし、被害農家への早急な対応を求める声を上げてきており、無利子資金による支援、園芸作物等の種苗費・肥料費への支援を行うための関連予算案については、早期に被害農家へ届けるべく、スピード感をもって審議に臨み、

## 12月定例会

### ●市道における事故に伴う和解および損害賠償について

市道の陥没した箇所で行方不明となった乗用車が、歩行者を巻き込み、乗用車が損傷し、損害賠償が発生していることが頻発化している背景を踏まえ、議員5名が一般質問で道路環境の整備について市の対応を質しました。

当局からは、道路点検における体制強化のほか、維持・補修に関する次年度予算額の拡充について方向性が示されました。

### ●経済状況と物価高騰への対応について

国において「デフレ完全脱却のための総合経済対策」の裏づけとなる補正予算が11月29日に成立し、重点支援地方

## 可決した主な議案

### 11月臨時会

#### 〔補正予算〕

##### ●一般会計予算(第5号)

《主な内容》8月の高温少雨に伴う農作物被害に対する支援を行うための経費のほか、7月の大雨・4月の晩霜に伴う農作物被害に対する支援の追加に要する経費を措置したもので、歳入歳出それぞれ1千30万円を追加するものです。

### 12月定例会

#### 〔条例〕

##### ●一般職の給与に関する条例・一般職の任期付職員の採用等に関する条例・特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

●水道事業給水条例の一部改正

●商工業振興促進条例の一部改正

他6件

#### 〔補正予算〕

##### ●一般会計予算(第6号)

《主な内容》エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている低所得世帯の生活を支援するための経費を措置したもので、歳入歳出それぞれ3億6千437万2千円を追加するものです。

##### ●一般会計予算(第7号)

《主な内容》7月の大雨により被災した土木施設の復旧に要する経費をはじめ、次年度に向けたシステム環境の整備に要する経費のほか、職員の給与改定等による人件費などを措置したもので、歳入歳出それぞれ3億7千50万円を追加するものです。

##### ●一般会計予算(第8号)

《主な内容》重点支援地方交付金を活用し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている生活者や事業者を支援するための経費を措置したもので、歳入歳出それぞれ1億590万1千円を追加するものです。

##### ●水道事業会計予算(第3号)

《主な内容》7月の大雨により破損した茶臼配水池送水管の復旧に要する経費を措置したもので、資本的収支の収入で1億4千469万2千円の増額、支出で1億3千542万円の増額を見込んだものです。

#### 〔その他〕

●インフォメーションセンターわかみ、なまはげ館、シルバークラブプラザ、男鹿駅周辺広場、男鹿市体育施設等の指定管理者の指定

**質疑** 秋田県人事委員会の給与等に関する報告および勧告に準じて給与を改定するとしているが、この勧告の行使は絶対的なものか。  
**答** 法律上は地方公共団体を拘束するものではないが、制度の趣旨に鑑みて十分尊重されるべきものと認識している。また、総務省からは、都道府県の人事委員会における

**質疑** 若手職員の給与水準を引き上げる方針とは。  
**答** 今回の給料表の改定で

**質疑** 一般用は段階的に引き上げるなど、引上げ幅を少しでも縮小して、一般家庭に与える影響を抑制することはできなかつたのか。  
**答** 令和6年度から令和10年度まで向こう5年間の総括原価を求め、これに見合った適正な料金水準にするためには30%以上の引上げが必要との試算結果となつた。試算に基づいて料金を引上

**質疑** 再度、5年後に料金改定を行うのか。  
**答** 総括原価方式に基づき向こう5年間の水道事業を運営していくために必要となる経費に見合った料金設定をしたところであり、料金改定後は、毎年その決算状況等を精査し、我々が見込んだ財政シミュレーションと乖離がないかを定期的に検証しながら、料金改定の必要性を検討していく。

他9件

# 議案質疑

## 12月定例会

### 男鹿市一般職の職員の給与に関する条例・男鹿市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

され、最終日に全会一致で可決しました。  
なお、本市都市ガス料金や加茂地区LPガス料金の負担軽減についても、支援期間の延長が決定されています。

**●災害復旧事業について**  
7月の大雨で被災した土木施設について、国の災害認定を受けた仁井山北町線等や、市単独での復旧に取り組むなまはげライン等の復旧工事に係る関連予算案が定例会初日

勧告も参考に適切な対応を行うよう通知されているところでもある。これを受け、県内他市の状況など総合的に判断し、県人事委員会の勧告に準じて給与改正条例を今回提案させていたためである。  
**質疑** 議員分の期末手当引上げに係る条例改正案を提案しなかつた経緯と考え方は。  
**答** これまでも議会側と十分協議した上で提案することとしてきている。県内他市の状況や動向も参考にしながら、当初は特別職分および議員分ともに0.1月分の引上げの改定を考えていたところであるが、今回は議会側から支給率の引上げは行わないという方針が示されたため、当局としては議会側の意思を尊重し、議員分の提案を見送った状況である。

### 男鹿市水道事業給水条例の一部改正について

**質疑** 一般用は段階的に引き上げるなど、引上げ幅を少しでも縮小して、一般家庭に与える影響を抑制することはできなかつたのか。  
**答** 令和6年度から令和10年度まで向こう5年間の総括原価を求め、これに見合った適正な料金水準にするためには30%以上の引上げが必要との試算結果となつた。試算に基づいて料金を引上

なお、主要地方道男鹿半島線茶臼峠の復旧見直しについては、片側交互通行で交通開放が可能な状況にありますが、除雪の堆積幅確保が難しく、3月までの冬期間は全面通行止めにするとしています。

他9件



太田 穰 議員  
(市民クラブ)

少子化対策と子育て環境整備について

**質** 市では「子育て環境日本一」を掲げているが、今後はより具体的で大胆な施策や移住者対策が必要である。少子化の現状分析、他自治体の成功例を参考にした少子化対策は。

**答** 減少し出来るだけ歯止めをかけるべく最大限努力していく姿勢が大切であり、引き続き全国の自治体の成功事例を研究し本市の実情にあつた少子化対策や子育て支援策の充実に努めていくとともに、様々な施策事業を検討し、子育て環境日本一に向けた取組の充実に努めていく。

企業誘致活動の成果と女性に魅力的な企業の誘致について

**質** 企業誘致の実現は人口の増加にも寄与するところではあるが、特に女性の地域外流出を抑制し、働きやすい環境を整えることが少子化対策と人口維持の鍵となり、女性の地域定着と活躍を促進

するための施策が必要である。これまでの企業誘致成果、女性が働きやすい環境整備、地元女性のスキル向上・キャリア構築支援、女性リーダーシップの育成、コミュニティ内での女性ネットワーク強化、女性に魅力的な企業誘致策は。

**答** トップセールスによる企業誘致活動が実を結び始めていると感じている。女性のキャリア形成・継続にあたっては、女性自らの意識改革と企業経営者の意識改革を進めることも大切であり、今後は女性に魅力的な企業の立地や職場づくりの支援に取り組んでいく。

「コミュニティセンターの活動状況と集落支援員の活動内容について

**質** 出張所を廃止し、10月から地域に密着したコミュニティセンターを設立して集落支援員を配置したが、その活動状況は。

**答** 振興会長や町内会長等を訪問し、まずは地域の状況把握に努め集落点検の実施に向けた準備作業を進めている。今後は地域の抱える困り事をきめ細かに現状把握し、コミュニティセンターを中心に、集落支援員と地域の方々の信頼関係に基づいた強固な協働体制を築くことで、市と地域住民との協働の地域づくりに努めていく。



藤 優子 議員  
(公明党)

物価高騰対策と経済再生に向けた取組の推進について

**質** 物価高騰の影響を受ける生活者や事業者が自治体が独自に支援するための財源となる重点支援地方交付金の予算が追加されたが、低所得世帯7万円給付の対応や今後のスケジューリングは。

**答** 定例会初日に可決した7万円の特別給付金、8千円の灯油購入費助成金が、物価高騰の影響を受けている低所得世帯へ一日も早く届くよう、プッシュ型給付で12月28日には支給を開始したい。  
**質** 地域の実情に合わせて自治体

**答** が柔軟に活用できる生活者支援策・事業者支援策について。生活者支援として、子育て世帯を対象とした支援の充実等を考えている。また、事業者支援としては、福祉施設や介護施設への支援、度重なる自然災害の中で生産資材が軒並み高止まりしている農業経営に対する支援、省エネ化や生産性向上に取り組む中小企業への支援などを検討している。



安田健次郎 議員  
(日本共産党)

市政の主要な課題について

**質** 来年度予算の主要な方針は。地場産業の振興、船川港の活性化と企業誘致対策、子育て環境日本一に向けた総合支援と学校教育の充実など五つの事項を重点的に取組に位置づけ措置していく。

**答** 脱炭素推進に向けた具体策は、ごみの正しい分別によるリサイクル率向上や節電対策等、それぞれの立場から脱炭素に向けてアクションを起こせるよう、分かりやすい取組内容を提示していく。

物価高騰対策、国保税や介護保険料等の市民負担軽減策は。

**質** 住民税非課税世帯等に対する7万円の給付金や灯油購入の助成費を年内に支給する。また、市独自に実施する推奨事業メニューは、子育て世帯などを重点的に支えるとともに、福祉・介護施設の食材費や中小企業者の省エネ設備への助成等を中心に措置していく。国保税や介護保険料は、年度末の基金残高に加え、被保険者の人数や所得状況、保険給付費や介護給付

費の動向等を見通した上で、しっかりと検証を行い算定していく。

道路環境の整備促進について

**質** 道路の不備な箇所等の点検業務を強化すべきではないか。

**答** 建設業協会や公共交通機関、運送事業者等との協働体制の強化に取り組むとともに、市のLINEアプリによる緊急通報システムの構築を進めている。  
**質** 側溝の不備、木や枝の張り出し等に対する取組は。

**答** 緊急性の高いものから側溝の更新や清掃等を実施している。樹木が私有地にある場合は土地所有者の協力を得て解消に努めている。

災害被害の支援策について

**質** 被害額に見合った支援策が必要でないか。

**答** このたびの大雨に際してもきめ細かな支援策を講じている。今年度から従来の2倍となる額へ災害見舞金を引き上げしているが、床上浸水は支給対象になっていないため、今後検討していく。

**質** 水稲や大豆被害への支援は。収量減収には無利子で保証料なしの運転資金を準備した。等級低下にはJA等集荷団体に概算金追加払い等の対応を要請している。大豆被害は、県と協調して種子購入費を助成する。



古仲 清尚 議員  
(明政会)

有害獣対策について

**質** クマによる人身被害を防止するためにはクマの生態を知り、遭遇しないことが重要であるが、本市に生息するクマの個体数は。

**答** 18件の目撃情報があり、11月22日には船越地区で1頭捕獲されるなど予断を許さない状況にある。猟友会では複数生息しているのではないかと見ており、市内2か所に箱わなを設置している。  
**質** 高齢化等の要因により担い手不足が懸念される狩猟者の確保など今後の取組について。

**答** 猟友会には現在39名が加入し、平均年齢は65歳、70歳以上が22名と高齢化が進んでいる。狩猟者の育成・確保は、人身被害や農作物被害を防止する上で極めて重要であり、担い手の育成・確保に努めていく。箱わな設置数の拡大、出勤報酬の増額や捕獲者慰労金への上乗せを検討していく。

デジタル障害者手帳の活用について

**質** 障害者手帳を提示しなくても、本人確認や割引サービスが利用できる障害者手帳アプリ「ミライID」の導入について。

**答** 市が所有する施設への導入を急ぎ、一事業者でも多く導入されるよう周知に努める。

漁業・水産業について

**質** 昨今の漁業・水産業を取り巻く環境は、年間を通じた漁獲量や漁獲額が低推移していることをはじめ、従事者の高齢化や後継者不足、地域産業および経済活動の停滞や低迷など社会構造の変化さらには近年の異常気象とも称される気候変動による自然生態系への影響など、課題は山積しており、深刻な局面に直面している。

水産行政として、魅力豊かで希望を抱ける産業の将来に向かって「持続可能な漁業・水産業へ向けた産業の振興・成長化ビジョン」を策定し注力すべきではないか。

**答** 本市の漁業は、経営体数、漁獲量、漁獲額など全体的に減少傾向にあるものの、ここ数年はその傾向が鈍化し横ばいで推移しており、これまで行ってきた振興策の効果が現れてきていると捉えている。一方で、近年の海水温の上昇や海流の変化等により、主要魚種であるハタハタに依存しない経営への転換が必要と考える。

地域医療体制の進展に向けて

ご提案のビジョンについては、漁業・水産業が本市の主要産業として持続的に発展できるよう、早期に策定に着手し、今後の取組の方向性を示していく。

**質** 情報通信技術を活用した医療DXによるオンライン診療や移動診療車による訪問診療の展開など、地域医療を支える新たな医療体制のモデルも必要ではないか。

**答** 長年、住民から頼りにされていた診療所が閉院した北浦地区などにおいて、オンライン診療は新たな地域医療の在り方として有用な選択肢の一つと認識している。オンライン診療の導入に向けては、調整・解決すべき課題も多くあることから、引き続き、市民の医療ニーズの把握に努めていく。

道路環境整備の改善に向けて

**質** 舗装の損傷が多く目立ち、交通機能への影響が及んでいる。修繕に係る体制の改善を図るなど、抜本的な見直しが必要ではないか。

**答** 今まで以上に情報収集に努め改善策を考えている。応急的対応等については、市内事業者への業務の一部委託を検討する。国道や県道も速やかに修繕等がなされるよう、県との連携強化に取り組む。



小野 肇 議員 (市民クラブ)

ネオニコチノイド系農薬の使用について

水道に関するネオニコチノイド系農薬の水質調査は行っているか。

一連の新聞報道を受け、本市でも「ジノテフラン」について、滝の頭水源、根本地下水および一ノ目湯水源の水道水を検査したが、機器で検出できる下限値に達していなかった。

ネオニコチノイド系農薬の使用量抑制と有機農業の推進について、市の見解は。

国では、令和3年度から最新の科学的知見に基づき、全ての農業について安全性等の再評価を開始し、ネオニコ系農薬については優先的に評価を行っているところであり、その結果を踏まえて適切に対応する。

有機農業の現状としては取組が広がっていないが、農家が一般的に使える栽培技術の早期確立について、国・県に対し要望するとともに、有機農業の化学肥料・化学

農業を慣行栽培の半分以下に抑えた特別栽培農産物の生産・販売の推進に努める。

オーガニック給食の本市での実現の可能性はあるか。

オーガニック食材の学校給食への使用については、食の安全や地球環境の負荷を軽減するために意義あるものと認識しているが、本市での実現に当たっては、クリアするべき多くの課題がある。

しかしながら、オーガニック食材を使用した学校給食の実施は、成長期にある子どもたちの健康面において望ましいものであることから、まずは男鹿産有機米の学校給食への導入の可能性を、関係各課との連携を図りながら模索していく。

市道の保全について

市道の維持管理の状況と道路パトロールはどのように行っているか。

職員等、計8名体制で定期的パトロールを実施しているほか、各地区のコミセンや町内会長、道路利用者、連携協定を締結している郵便局等からの情報提供を受け、現地確認のうえ業者に修繕を依頼している。

【その他の質問】

消防施設の充実強化について



吉田 洋平 議員 (政和会)

道路環境の整備について

道路の現況、持続的な交通インフラ整備に対する市の考えは。

毎年多くの苦情・要望が寄せられており、路面の破損等による事故も発生している。道路補修に対する予算額も十分とは言えず、事業量が目減りしている状況。今後、舗装状態の悪化している路線を中心に舗装修繕対策を強化し、必要な予算を増額し対応していく。船越こども園開園に向けた周辺道路の環境整備の考えは。

Uターンの促進について

県外からの帰省を促し、地元に戻るきっかけとなるような施策立案の考えは。

Uターンの働きかけは移住定住促進の有効な手立てであり、



田井 博之 議員 (新風会)

ビジネスホテルの誘致について

男鹿市にビジネスホテルができることは、男鹿の活性化のために大きな意味があると思う。

本市のすばらしい観光地を目的として訪れる方、もしくはビジネスで訪れる方などに少しでも長く滞在していただくためにも、ビジネスホテルは必要でないか。

なぜいまだにビジネスホテルを誘致できないのか。

昨年、全国に展開している主要なビジネスホテルチェーンに対し、本市への立地の働きかけを行ったものの、最寄りの鉄道駅の乗降者数や高速道路のインターチェンジからの距離など、立地判断の要件において恵まれているとは言い難いことや、今後の宿泊需要や採算性の面などから、誘致は引き続き厳しい環境にあると認識している。

そうした中でも、市長が自ら先頭に立ち、観光やビジネス需要等、本市の可能性を強くアピールしながら地道にトップセールスを行う

ており、現在、本市へのビジネスホテルの立地に関心を示している事業者もいる。

市としては、今定例会に提案した商工業振興促進条例による支援体制や、来年4月に予定されている洋上風力発電に関する総合訓練センターの開所、アフターコロナにおけるインバウンドの拡大といった、ビジネス・観光の両面において今後に見込まれる宿泊需要など、本市の優位性、セールスポイントを強く訴えながら、引き続き粘り強く誘致に取り組んでいく。

イベントへの来場客が市外へもつたいないと感じている。

既存の宿泊施設と交渉して、新たに安価な宿泊プランを設けたり、ビジネスホテルに限らずカプセルホテルなどの簡易的なホテルの誘致にも取り組むなど、宿泊客を少しでも増やすための取組はできないものか。

先の答弁のとおり、企業の進出の際には様々な要件が整うことが前提にあるが、その上で、カプセルホテルやゲストハウスなども含めた宿泊施設の誘致に向けて一生懸命力を入れている。芽が出ようとしているところであり、期待したい。



船木 正博 議員 (市民クラブ)

観光業界の現状と支援策について

観光業界の現状を捉え、男鹿市のため、市の財政状況を踏まえながら、現場の生の声を取り入れた振興策を実施したらどうか。

人口減少等を背景に地域経済とす産業振興は待ったなしの状況にある。持続可能な経営という視点で各々の事業者による思い切ったチャレンジが不可欠であり、市としてはそうした事業者の意欲を喚起しながら主力で支援していく。

男鹿市観光の問題点と活性化策について

「観光施設の整備と利用状況について」

オガレやハブアゴー広場、民間事業者であるクラフトサケの醸造所など、男鹿駅周辺の施設は観光客の増加にどの程度貢献しているのか。

官民挙げての積極的な取組により、男鹿駅周辺エリアの観

光集客力は年々高まりを見せていると認識しており、今後も男鹿半島周遊観光の拠点として、引き続き賑わいづくりに努め、本市全体の観光振興につなげていく。

「観光振興に向けた連携と事業者支援について」

観光振興には、観光事業者や地域住民、行政や団体などが連携し、観光客の満足度や地域の活力を高めることが重要である。また、観光事業者への経営や人材の面での支援も必要である。

本市では男鹿版DMOが観光地域づくりの舵取り役として活動しているが、来年度から事務局を、これまでの市観光協会からおが地域振興公社へ移行することで幅広い連携体制を整備し、地域への経済波及効果を高める役割を担うこととしている。男鹿版DMOを核に、「稼ぐ観光」の実現を目指していく。

観光事業者への支援については、宿泊支援、燃料高騰への助成、省エネや生産性向上に対する支援など、経営につながる支援を実施している。また、深刻化する人手不足への対応については、人材育成と能力強化にも努めている。

【その他の質問】

市道の整備状況と今後の道路整備について



蓬田 司 議員 (政 和 会)

温浴施設の民間譲渡について

譲渡実現への可能性を含めた  
感情など現時点における状況  
および今後の方向性について。

「夕陽温泉WAO」について、  
敷地と設備を活用して陸上養  
殖プラントを建設・運営すること  
で新たな産業を創出する陸上養殖  
事業と、コテージを法人向けと一  
般向けにゾーニングし、それぞれ  
のニーズに合った施設へとリノベ  
ーションして運営する宿泊事業の  
2事業の提案があった。

市内選定委員会の構成委員に  
ついて、また、どのような審  
査項目で、何を最優先にしたか。

副市長を委員長に、部長級職  
員5名を委員とする「温浴施  
設譲渡に関するプロポーザル選定  
委員会」を開催し、新たな事業が  
地域に与える影響や持続可能性に  
重点を置き、施設の活用度合いや  
地域活性化の取組、経済効果等14  
項目について審査した。委員会と  
してさらに審査を要すると判断し  
たことから、継続審査とした。

審査結果の内容を地域住民・  
利用者等に公開する考えは、  
決まり次第、市民の皆様にも  
お知らせしたい。

譲渡先企業が選定された場合、  
地域住民や利用者のニーズ等  
を取り入れていく必要があると  
考えるがどうか。

仮契約締結に進んだ際には、  
利用者アンケートや住民説明  
会での意見についても、事業者に  
伝達する。

令和6年度から勤勉手当を支  
給する考えについて。  
勤勉手当の支給については、  
3月議会への提案を念頭に、  
前向きに検討していく。

令和6年度から勤勉手当を支  
給する考えについて。  
今定例会において提案してい  
る条例改正により、給与表の  
改善が図られると考えている。

勤勉手当以外の処遇改善を実  
施する考えについて。  
今定例会において提案してい  
る条例改正により、給与表の  
改善が図られると考えている。

農業関係における気候変動対策  
クマ対策について

審査結果の内容を地域住民・  
利用者等に公開する考えは、  
決まり次第、市民の皆様にも  
お知らせしたい。

陳情

令和6年度理科教育設備整備費  
等補助金予算計上についての  
お願い

安全・安心の医療・介護実現の  
ため人員増と処遇改善につい  
て国に意見書提出を求める陳情

国民のいのちと健康を守るため、  
政府の責任で医療・介護施設へ  
の支援を拡充しすべてのケア労  
働者の賃上げや人員増のため国  
に意見書提出を求める陳情

秋田県に対して「子どもの医療  
費助成を中学から高校卒業まで  
引き上げること」を求める意見  
書提出の陳情

あきたこまちRについての陳情  
《主な内容》あきたこまちRの採用を  
延期するよう秋田県知事に要請する  
こと。

健康保険証廃止の中止について  
国に意見書提出を求める陳情  
《主な内容》現行の保険証を残すこと。



秋田県に対して「子どもの医療  
費助成を中学から高校卒業まで  
引き上げること」を求める意見  
書提出の陳情

あきたこまちRについての陳情  
《主な内容》あきたこまちRの採用を  
延期するよう秋田県知事に要請する  
こと。



予算特別委員会

全議員で構成する予算特別委員会（笹川  
圭光委員長、古仲清尚副委員長）で、付託  
された一般会計補正予算案等について審査  
し、いずれも原案のとおり、可決すべきも  
のと決しました。  
委員会で質疑のあった中から主なものを  
取上げ、その要旨を掲載しました。

物価高騰対策（生活者支援）について

低所得世帯が対象とな  
っているが、非課税世帯以外  
にも支援を拡充していくべき  
ではないか。

市ではコロナ禍以降の  
経済対策や物価高騰対策では、  
一貫して深刻な影響を受け、  
真に支援を必要とする方々を  
重点的かつ効果的に支援する  
ことを基本としてきた。これ  
については国からも、給付対  
象は合理的な範囲とするよう  
指導されていることに基づく  
考え方である。

こうした考えの下、生活者  
支援については、これまで非  
課税世帯や子育て世帯を中心  
に、さらには住民税非課税世  
帯に準ずる世帯として、住民  
税均等割のみ課税世帯にも支  
援してきたところである。  
今回の国の重点支援地方交  
付金の増額を受け、子育て世

帯には課税、非課税を問わず  
して支援が必要と考え、子ど  
も1人当たり2万円の給付金  
を予算計上させていただいた。  
一方、住民税均等割のみ課  
税世帯については、このたび  
も給付金の事業化を検討して  
きたところであるが、国にお  
いて支援する動きが出てきた  
ため、市としては、今回の事  
業化、予算計上を見送ったと  
ころである。

この住民税均等割のみ課税  
世帯への対応については、今  
後も国の動向に注視しながら、  
市としての対応を考えていく  
ことである。

旧野石小学校を活用したバック  
クォーターの建設計画について



▲旧野石小学校

本市の上水道やガスは  
どの程度の使用量が見込まれ  
るか。

相手方もあることから  
詳細について申し上げること  
はできないが、相当量の水を  
使っていたらと伺って

また、燃料の採用は先方  
で検討している段階である。  
現状、大潟村工場はプロパン  
ガスを使用しているが、男鹿  
工場はぜひとも都市ガスを使  
用していただきたい旨、営業  
しているところである。

既に下水道へ接続され  
ており、建物自体が接続の許  
可を取っているものである。

企業版ふるさと納税寄附  
金・企業版ふるさと納税  
地方創生基金について

企業版ふるさと納税寄  
附金の内訳は。また、企業版  
ふるさと納税地方創生基金の  
活用方法は。

秋田プライウッド(株)か  
らは2千万円の寄附をいただ  
いており、男鹿市総合戦略の中  
基本目標に該当する事業の中

から、少子化対策での活用を  
希望されている。市としては、  
来年度購入予定のスクールバ  
スや保育園バス等の購入に活  
用すべく、この基金に積立て  
をするものである。

また、ほか1社からは10万  
円の寄附をいただいております、  
こちらも同じく少子化対策で  
の活用の希望があり、今年度  
から実施している給食費完全  
無償化事業に充当するもので  
ある。

企業版ふるさと納税を  
活用して購入するとしている  
スクールバスや園バスとの関  
連は。

寄附をいただいた2千  
万円を活用し、来年度、スク  
ールバスや園バス等の購入を  
予定している。これら車両の  
購入にあたり、本市の魅力高  
めるとともに、視認性を高  
めるラッピングデザインを制  
作するものである。

なお、寄附金2千万円は、  
スクールバス、園バス等の購  
入費に充ちたいと考えてお  
り、ラッピングデザイン業務  
については、一般財源で対応  
するものである。

管理が行き届かない家  
屋等が増加している現状の中、  
年間計画で公費を投入して除  
却をするなど、景観維持や住  
民の不安払拭を図るための施  
策は考えられないのか。

建物所有者に対しては、  
自主的な除却を指導している  
が、今年度から解体除却の支  
援事業を拡充している。引き  
続き、来年度も空き家等の除  
却費用を維持しながら、危険  
空き家を増やさないよう対策  
を強化していく。

昨年度から男鹿地区消  
防一部事務組合においても敷  
地内の除雪を委託しているが、  
市から市道の除雪を委託して  
いる業者と重複するケースも  
見受けられる。業者との協議  
や調整はなされているのか。

市としては、まずは市  
道の除雪を最優先に実施して  
いただきたいと考えており、  
消防署内や民間事業者施設の  
除雪を実施する場合は運行記  
録計から計測紙を除外するよ  
う指導しているところである。  
今後とも除雪業者への指導を  
徹底していく。

# 委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、付託議案等と所管の予算案を審査しました。  
質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

## 総務

**質疑** 会計年度任用職員の給与及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

**答** 会計年度任用職員の給与及び費用弁償等に関する条例の一部改正については、

**質疑** 会計年度任用職員の処遇改善状況は。  
**答** 一般職の職員と給料表は同じものであり、期末手当も同じ割合で引き上げられるため、このたびの改定で相当程度改善される。全国的に国の制度改正に沿って適正に対応していききたい。

**質疑** コンビニエンスストア等収納事務の債務負担行為補正について

**答** コンビニエンスストア等収納事務の債務負担行為補正については、

## 産業建設

**質疑** 奨励措置等の適用を判断する中で、植物工場やパックご飯工場、養殖施設など、農水産業分野との線引きは。

**答** データセンター、コールセンター等を想定して対象業種を拡大したほか、「その他、特に市長が必要と認める事業」についても対象に追加したところである。これについては、市の課題解決に強く貢献が期待できる事業、市に対しこれまででない投資額が生ずる事業、雇用促進の面で大きなインパクトがある事業など、商工業の振興や雇用の促進に資する取組と判断できるものについては、奨励措置の対象とし、支援していく考えである。

**質疑** 長期計画との整合性も含めた決算状況と財政シミュレーションとの検証方法は。

**答** 料金体系については、余程の災害等がない限り5年間は維持できるような状況ではあるが、10年間の収支見通しを立てていた経営戦略の策定時とは、資材等の高騰によ

付額は約1億4千7百万円となつている。

**質疑** 納付書から口座振替への移行を推奨してきた経緯があるが、自治体としては今後の事務事業の効率化や市民の利便性についてどのように考えているのか。

**答** 自治体として最も効率的な納付方法は口座振替の一括納付であるが、現在はデジタル化を推進する中で、過渡期として決済方法も多様化しており、今後さらに淘汰されメジャー化した決済方法のうち、の幾つかが主流になっていくであろうと考えている。今現在、納税者が利用しやすい環境づくりとしてデジタル化が推進されているため、目的に沿って事務事業を進めていきたい。

**質疑** いざ火災や災害が発生した場合、即座に現場へ駆けつけることが可能な団員は少なくなつてきているのが現状にあるが、分団の統合を図る再編の考えはなかつたのか。  
**答** 定数820名に対し、

現在の団員数は733名と定数に満たない状況であり、また、今後の入団見込みも乏しく、定年勧奨に基づいて5年後にはかなりの団員数が減少し、10年後には500人前後になる見込みである。そのため、このたびは現行の班編成で統合し、活動しやすい体制を構築したものである。

## 教育厚生

**各公民館活動の充実強化について**

**質疑** 10月1日以降、市内10か所ある公民館のうち、7か所がコミュニティセンターとして新たに活動を始めているが、その状況と変化について。  
**答** 従来は公民館活動における学級講座に集うことが主流だったが、公民館職員が新たに配置された集落支援員とともに地域に出向き、町内会館を活用し事業を実施する等、その地域に望まれる活動や事業等、地域の声を直接聞きながら改革に取り組んでいる。

**質疑** 目立った活動があるとは未だ感じられない。優良事例等について

**答** 北浦地区と船川地区の二つの地区で重点的に管路更新を進めている。この計画が終了した後、緊急性の高い箇所としては、7月には災害も発生し、布設から約50年経過している根本浄水場から茶臼配水池までの送水管を想定している。今後さらに精査し、新たな管路更新計画等をつくりていきたい。

**質疑** 耐用品数を考慮した今後の管路更新の考え方は。  
**答** 管路の法定耐用年数は40年とされているが、耐用年数を経過した施設をすぐに更新していくのは難しく、国やほかの水道事業体でも法定耐用年数に代わる更新基準として、材質に応じた実使用年数を用いる動きが広まっている。管路の実使用年数は平均60年とされており、材質によっては80年使用できるとされていることから、今後老朽管については、設置している水道管の重要度や破損する可能性の高さなどを見極め、優先順位を定めて効率的な更新を進めていく。

**質疑** 現在進めている管路更新

**質疑** 2か年続けて減収となっている水稲農家に対しては、

**農業資材等価格高騰対策支援事業について**

**質疑** 2か年続けて減収となっている水稲農家に対しては、

例等について情報共有する場を充実させるべきではないか。

**答** 各公民館長と職員が一堂に会する会議を年1回開催し、情報交換を行っている。また、全ての地区で均衡に事業が進められるよう四半期ごとに活動を振り返り、優良事例等を共有、さらに、生涯学習班職員が直接出向き、事業実施に向けた助言や方向性についての話し合いの場を設けている。引き続き、学級講座等の一層の充実に努めたい。

**意見** 従来の考えから刷新され、元気で活力ある地域となるような活動を期待したい。休日中学校部活動の地域移行について

**質疑** 各校の部員数が少ない中で、どのように進めるのか。  
**答** 小規模化する学校単位での部活動ではなく、学校の枠を超えた活動とすることで、スポーツや芸術活動をより魅力あるものにしていくことが、地域移行の主たる目的の一つである。今後、種目によっては拠点校方式として2校合同での練習とするなど、質の高い活動ができるよう進め方を検討していく必要がある。

**質疑** 現在の外部コーチの年齢構成は。

**答** 災害に対する水稲農家への支援については、無利子の資金や収入保険でカバーなり、今後の対策をしていたきたいというのが基本的な考え方である。今回の事業は、あくまでも世界情勢の影響による物価高騰を補填するという意味合いであり、減収部分を補填するということとは異なるものである。

**質疑** 農家全般にわたって経営状況は深刻である。市は農業を基幹産業としているが、今後の農家支援の考え方を示していたきたい。

**答** 4月の和梨の降霜被害7月の大雨被害に続く、8月の高温少雨被害に対しては、県内に先駆けて、いち早く市独自の対策も合わせて、約4千万円の予算を措置して取り組んできたところである。また、このたびは国からの重点支援地方交付金を活用し、本市への配分額全体の約3分の1に当たる2千700万円を基幹産業である農業分野に充当し、なおかつ、一般財源も持ち出して手当するものであり、市の財政的に可能な範囲で農業を支援していくとい

**質疑** 農家全般にわたって経営状況は深刻である。市は農業を基幹産業としているが、今後の農家支援の考え方を示していたきたい。

**答** 大半が60代以上の方である。持続可能な体制づくりの観点から、今後何らかの対策を講じなければいけないと考えている。

**質疑** スポーツ振興の観点から、市スポーツ協会やスポーツを所管する課などが中心となつて進めるべきではないか。

**答** 指導者が教員以外になつたとしても、休日の部活動継続を望む生徒は多い。地域移行後の円滑な運営には、学校との連絡調整が不可欠であることから、教育委員会、文化スポーツ課、市スポーツ協会が連携し、休日の部活動の地域移行を進めていきたい。

**質疑** 患者にとつて、より身近な課題である診療予約の在り方や、待ち時間の短縮に向けた対応についてどう考えているか。

**答** 経営強化プランには随時対応すべき課題として「検討」という形で記載している。特効薬となるような対応策はないのが現状であるが、引き続き多方面の意見を伺いながら、計画に限らずできることから改善に取り組みたい。

**質疑** 応募がなかつた「温浴ランドおが」については、解体に向かうのか。または、新たな一手を模索するのか。

**答** 廃止時期を含め今後の対応を検討することとしているが、ほかにも解体をしなればならない市有施設があることから、すぐに解体はできないと感じている。それまでは、当該施設を活用して事業展開できる事業者を見つけていくよう努めていく。

**意見** 活動実績がある農業委員からの発言は行政も重く受け止めなければならぬ。農水省の目標値、年間活動日数120日という実績に向け、鋭意努力していただきたい。

## 観光協会との意見交換会

11月15日、議員クラブは観光協会の皆様と意見交換会を開催しました。男鹿観光の現状と今後の課題について情報を共有し、観光振興の促進を図るために活発な意見交換を行いました。



## 25年ぶりに男鹿市で開催

11月1日、全国市議会議長会基地協議会東北部会第31回定期総会が男鹿温泉郷で開催され、13市10町村の議会議長が出席しました。また、翌2日は加茂分屯基地を視察しました。

当部会は、東北地方における基地関係都市共通の問題を調査研究し、解決の具体的方策を協議することを目的としています。



～まちの未来が見える～

### 議会傍聴に おいでください


12月定例会は傍聴者延べ43人  
「次は3月定例会」



### 令和6年能登半島地震 災害支援の 義援金を送りました


男鹿市議会では、令和6年能登半島地震で被災された方々の生活の安定と復興の一助としていただくため、議員全員から合計16万円の義援金を日本赤十字社へお送りしました。

1日も早い復興をお祈りいたします。

 ちいき本棚

無料アプリ「SideBooks」で「おが市議会だより」がご覧になれます。



 マチイロ

無料アプリ「マチイロ」で「おが市議会だより」を配信しています。



## 3月定例会の予定

2月	3月
20日 招集告示	11日 常任委員会・分科会
議会運営委員会	12日 常任委員会・分科会
27日 本会議（議案上程）	19日 予算特別委員会
29日 本会議（一般質問）	議会運営委員会
	本会議（表決）
3月	
1日 本会議（一般質問）	
4日 本会議（一般質問）	
5日 本会議（議案質疑）	
予算特別委員会	
6日 予算特別委員会	
7日 予算特別委員会	
8日 常任委員会・分科会	



## 編集後記



▼今年も早いもので一か月が過ぎました。今年の干支は辰です。全ての人に感謝し、竜のように力強く前に進んでいきましょう。

▼今季のハタハタ漁も記録的不漁のようです。漁港にうず高く積まれた木箱と箱代が、ハタハタより値段が高かった昔が懐かしく思い出されます。

▼市内の経済・社会情勢は

新型コロナウイルス感染症の影響から立ち直りつつあるものの、いまだに円安と物価高騰の影響を受け、家計と事業者は依然として厳しい状況におかれております。この後、令和6年度当初予算案が3月定例会に上程されますが、市民生活の向上と地域に密着したサービスを第一と考え、厳しい地方財政状況も踏まえながら、活発な議論を行ってまいります。

（小野 肇）